

CASBEE-建築(新築)2016年版
同志社女子大学 京田辺新寮(仮称)建設工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	Q1		Q2		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.2
Q1 室内環境			0.40			2.8
1 音環境		3.0	0.15	2.8	1.00	2.9
1.1 室内騒音レベル	【共用部】ロビー:50db 【住居部】居室:40db	3.0	0.50	4.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	1.6	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能			-	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	1.0	0.20	
1.3 吸音			-		-	
2 温熱環境		2.2	0.35	2.2	1.00	2.2
2.1 室温制御		2.2	0.50	2.2	0.50	
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		1.0	0.38	1.0	0.38	
3 ゾーン別制御性			-		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.25	3.1	1.00	3.2
3.1 昼光利用		4.2	0.30	3.4	0.30	
1 昼光率	【共用部】3.5% 【住居部】2.4%	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口			-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.0	0.25	3.8	1.00	3.2
4.1 発生源対策		3.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	内装工事の材料のホルムアルデヒドの放散量は全てF☆☆☆☆とす	3.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.5	0.38	
1 換気量			-		-	
2 自然換気性能	【住居部】0.145>0.125(1/8)		-	4.0	0.50	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	1.00	3.0	0.50	
4.3 運用管理			-		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御			-		-	
Q2 サービス性能			0.30			3.6
1 機能性		3.7	0.40	4.8	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応	光ファイバーの導入あり		-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.5	0.40	
1 広さ感・景観	天井高:2~4階2.69m 4~5階2.6m		-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画	建物全体の明確なコンセプトがあり、具体的には陰影されている	5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理		3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房等にガルバニウム鋼板を使用	4.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途の2種類以上にB以上を使用	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備	節水器具の採用②可能な限り配管の系統を区分	4.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.8	0.30	3.0	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり				-	3.0	0.50	
1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.8	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	地下配管ピット、床下配管	4.0	0.20			
3	電気配線の更新性	構造部材、仕上げ材を痛めることなく更新できる	5.0	0.10			
4	通信配線の更新性	構造部材、仕上げ材を痛めることなく更新できる	5.0	0.10			
5	設備機器の更新性	更新に対応した配管ルートの計画あり	4.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		植栽による緑化づくり	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.20			2.0
3 設備システムの高効率化			-	-			-
4 効率的運用			3.0	0.40			3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
集合住宅の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.8	0.20			3.8
1.1	節水	節水コマ・省水型機器・自動水栓・節水型便器を使用している	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	雨水貯留槽の設置	4.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60			3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	フリーアクセスフロア・軽量鉄骨、パネル工法	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20			3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン材を使用	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		リサイクル材使用 ライフサイクルCO2排出率:79%	3.4	0.33			3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.50			
2	振動		3.0	0.50			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害ガイドライン」の過半を満足	5.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			